



平成18年10月27日

各位

会社名 東洋製罐株式会社
代表者名 取締役社長 三木 啓史
(コード番号 5901 東証・大証 各第1部)
問合せ先 執行役員総務部長 清水 泰行
(TEL 03 - 3508 - 2113)

特別損失の計上について

当社は、平成19年3月期中間決算において、下記のとおり特別損失(棚卸資産評価損)を計上しますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社の主力である飲料容器事業におきましては、容器販売と飲料充填設備販売を組み合わせ、お客様へ提案するソリューションビジネスを展開し、売上高および収益の向上を図っております。

当社は継続して当該設備の開発を行っており、昨年より従来設備を進化・改良させた設備での受注活動を開始しております。

つきましては、保有している旧型設備の経済的価値が低下したことから、財務内容の健全化を図るため、棚卸資産評価損として1,225百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績への影響

当該特別損失の計上につきましては、平成18年7月28日に公表いたしました平成19年3月期の業績予想に織り込み済みです。

以上